

# 予算特別委員会

**平成31年度養老町一般会計予算**

**問** ふるさと納税推進事業について、新たな返礼品の開発や窓口サイトを拡充する考えは。

**答** 返礼品の開発については、物品、養老公園の宿泊品や、主要産業である食肉産業の事業者とも相談しながら、本町に来てもらえるようなお礼品を開発したい。窓口の拡充については、現状では担当課窓口、ポータルサイトの楽天市場とさくらふるの3つであるが、今年6月に予定されている制度改正を見極めながら、別のサイトも検討したい。

**問** 保育士の職員数と離職率は。

**答** 来年度の正職員数は主任と保育教諭あわせて29人、臨時職員数は29人を予定している。離職率は算出していないが、平成30年度の退職者数は、途中退職者等4名であった。



**問** 風疹ワクチンの予防接種事業の内容は。

**答** 今後3年間で昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性に、風疹の抗体検査をし、抗体がなければ風疹の予防接種をするもの。来年度は昭和47年から54年生まれまでを対象に実施する。なお、職場の特定健診と一緒に受けられ、小さな事業所へは、事業所への働きかけと対象者へクーポン券を送って周知したい。



**問** 塵芥処理費について、10日間の大型連休中のごみ収集の対応は。

**答** 特別収集日を1日設けている。委託業者へは通常業務としてお願いしており、清掃センターにおいては南濃衛生組合の職員1〜2名が交代で対応する。

**問** 競争力強化生産総合対策条件整備事業について、町内でキャベツを生産している事業者との協議の状況は。

**答** 産地パワーアップ計画に関して、平成30年度中に行政とJA、サラダコスモが入って8回ほど話し合いをし、産地を拡大できるように協力願うよう進めてきた。また、サラダコスモと担い手との話し合いをする機会も計画しており、今後は利用者の意向を調査しながら、町の農



業発展に寄与できるように進めたい。

**問** 新規就農者や担い手等に対する国の補助事業が予算計上されているが、平成30年度中に当町から申請しても採択されなかった案件についての見解は。

**答** 平成30年度では申請は受理されたが、要件に合致していないことがあったため、しっかりと農業者と協議を進めながら確実に予算執行できるように進めていきたい。

**問** 建築物等耐震化促進事業について、民間ブロック塀を除去するための補助内容は。

**答** 補助対象限度額は上限22万5000円（補助限度額15万円）であり、上限を超えた分は個人負担となる。件数は10件を予定しており、申請が想定以上に多い場合は財政担当と協議する。

**問** 町民プールの赤字5500万円は今後も続くのか。また、命名権使用料の内容は。

**答** 町民プールの経常経費として、収支の開きがあり、それ以外にも臨時的な熱源の改修等があるため、今後の方針について早期に結論を出したい。また、命名権使用料については、平成30年度から5年間、スポーツマックスより年間108万円の収入がある。

**平成31年度予算に関する総括質疑**

**問** 国の就学援助補助金交付要綱の改正に伴い、当町においても入学前支給を実施する考えは。

**答** 入学までに必要な出費が3月中旬にあり、早めに国に請求し、3月に支給する方向で検討している。なお、平成31年度については場合により、補正対応もあり得るのでご理解いただきたい。



**平成31年度養老町簡易水道特別会計予算**

**問** 水道メータの検針業務を外部委託するにあたり、現在の検針料との比較は。

**答** 現在の検針業務は1戸あたり83円。外部委託については管理業務も含めた委託である。

**平成31年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算**

**問** 現在の滞納状況は。

**答** 21件が滞納しており、うち5件は差し押さえ訴訟が進行中、16件が分納誓約を進めながら少しずつ納付している。

**平成31年度養老町公共下水道事業特別会計予算**

**問** 現在の水洗化率は。

**答** 平成29年度末で66・8%。

**加入率は。**

**答** 総数127件のうち7件が未加入であるため、加入率は94・2%。

**平成31年度養老町農業集落排水事業特別会計予算**

**加入率は。**

**平成31年度養老町介護保険事業特別会計予算**

**問** 3月末で大垣タクシーが介護タクシーから撤退するが、今後の方針は。

**答** 窓口相談受ければ、介護タクシーと類似の事業を行っている事業所を紹介したい。養老町社会福祉協議会のリフトカーは、家族が運転するのであれば利用可能である。また、第

## 委員会から 議会への 報告事項

**答** 平成31年度予算ベースで、特別徴収91・23%、普通徴収8・50%。

8期介護保険事業計画に関するアンケート調査で、そういった需要が反映されれば、次期の計画の中で検討したい。

**特別徴収と普通徴収の割合は。**

少子高齢化・人口減少は想定以上の速さで進み、養老町独居老人登録者数、要支援・要介護者の認定数も増加している現状を踏まえると福祉輸送サービス、すなわち「福祉タクシー」が必要不可欠の状態になるのを目に見えている。この現状を踏まえ課題解決のために、担当課の健康福祉



**平成31年度養老町後期高齢者医療特別会計予算**

**問** 特別徴収と普通徴収の割合は。

**答** 平成30年12月現在、特別徴収79・58%、普通徴収20・42%で、全体の8割が特別徴収。